

# 見守りシステム「眠り SCAN」使用における同意書内容の説明資料

## 本資料について

本資料は、見守りシステム「眠り SCAN（ネムリスキャン）」の概要を説明するものです。本内容を十分にご理解いただき、別途同意書に署名をお願いいたします。

## 背景と目的

- 介護現場においては、転倒・転落などの事故防止のために、一般的に離床マット等が使用されていますが、離床マット等の既存ツールは誤検知も多く、また利用者が意識的に避ける等、事故の防止に繋がっていないのが現状です。
- そこで、新しい見守りシステムを導入することにより、利用者様の事故を削減し、利用者様により安心・安全な環境をご提供したいと考えております。  
また、スタッフの業務負担も軽減できることより、介護の効率化ならびにサービス向上も図れると考えております。

## 見守りシステム「眠り SCAN（ネムリスキャン）」の概要

1. ベッドに取り付けたセンサー※<sup>1</sup>が危険予兆動作（起き上がり、離床）を検知した場合に、スタッフが保有するタブレット端末にアラームを発信します。また危険予兆動作の発信だけではなく、壁面に取り付けたカメラユニットが居室内での危険予兆動作の前後を記録※<sup>2</sup>しています。これは利用者様の危険予兆動作の把握だけではなく、現在までの睡眠状態・行動歴・行動パターン等をデータとして保存しています。またそれらデータを活用し、利用者様にあった質の高い介護サービスの提供に役立てることが出来ます。  
(※<sup>1</sup> 眠り SCAN 本体センサーという、センサーは利用者様の状況に合わせて、取付位置の変更をおこなう場合がございます ※<sup>2</sup> 記録データの閲覧権限は施設監督者のみとなります)
2. スタッフはアラーム受信後、タブレット端末に表示されたアイコンまたはカメラユニットの画像により利用者様の危険予兆動作を確認し、訪室等対応します。  
(ただし必ずしもセンサーに反応して迅速に対応できるとは限らず、転倒転落、急変等を防ぎきれない場合があります)
3. カメラユニット画像はデータとして記録され、万一、転倒・転落等の事故が発生した場合の原因究明および再発防止に活用します。

## 予測される臨床上の危険性及び不利益

- 機器は安全に使用されますので、対象者に危害が及ぶことはありません。
- カメラユニットの設置につきましては、プライバシー保護の観点から対象者及び代諾者のご要望に合わせて取り外しができます。
- 対象者及び代諾者が希望される場合、他の対象者の個人情報に抵触しない範囲で開示いたします。
- 本システムによって記録されたデータは、事故発生時の再発防止等、今後のサービス向上に役立てる予定です。

## 成果の公表・個人情報の取り扱いについて

- 本システムの使用により得た成果を専門の学会や学術雑誌などで発表する可能性があります。
- 発表する場合は、参加者のプライバシーに慎重に配慮し、個人を特定できる情報が公表されることはありません。

## システム使用について

- 使用をお願いする理由  
本システムによる見守りにより、対象者の睡眠状態の把握、転倒／転落リスクを軽減できると判断し、使用をお願いする次第です。
- システムの使用について  
システムの使用は任意で、自由な意思により選択いただけます。使用しないことにより、不利益な対応を受けることはありません。
- 同意書への署名  
説明をご理解いただいた上、ご賛同いただけるようでしたら、同意書に署名をお願い致します。

## システム使用の撤回について

- 使用に同意した後でも、不利益を受けることなく同意を撤回できます。
- 入居者様の状態により、使用継続が困難と判断した場合、中断をお願いする場合がございます

## システム使用責任者

本システムの使用における問い合わせ窓口は以下の通りです。

施設名 サービス付き高齢者向け住宅 いきいきハウス♪

電話番号 06-6468-5252